

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 4 月 20 日 (2017.4.20)

【公開番号】特開 2015-223481 (P2015-223481A)

【公開日】平成 27 年 12 月 14 日 (2015.12.14)

【年通号数】公開・登録公報 2015-078

【出願番号】特願 2014-112311 (P2014-112311)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 3 月 16 日 (2017.3.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の動作を行う可動演出体と、

日時を計時する計時手段と、

複数種類の識別情報の変動表示を行い、表示結果を導出する表示手段と、

前記識別情報の変動表示が開始されてから表示結果が導出されるまでに、所定の演出を実行する演出実行手段と、

前記計時手段の計時結果に基づいて計時演出を実行する計時演出実行手段と、を有し、

前記演出実行手段にて前記表示結果に関する演出が実行されている場合に、前記計時演出実行手段にて前記計時演出が実行されると、前記表示手段は、前記計時演出を表示可能とする一方、前記可動演出体は、前記表示結果に関する演出に基づいた動作を実行可能としてなることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

請求項 1 の発明によれば、所定の動作を行う可動演出体（例えば、図 2 に示す上・左・右・左上可動役物 4 3 a ~ 4 3 d）と、

日時を計時する計時手段（例えば、図 3 に示す R T C モジュール部 9 0 5）と、

複数種類の識別情報の変動表示を行い、表示結果を導出する表示手段（例えば、図 2 に示す液晶表示装置 4 1）と、

前記識別情報の変動表示が開始されてから表示結果が導出されるまでに、所定の演出を実行する演出実行手段（例えば、図 3 に示す演出制御 C P U 9 0 0）と、

前記計時手段（例えば、図 3 に示す R T C モジュール部 9 0 5）の計時結果に基づいて計時演出（例えば、R T C 演出）を実行する計時演出実行手段（例えば、図 3 に示す演出制御 C P U 9 0 0）と、を有し、

前記演出実行手段（例えば、図 3 に示す演出制御 C P U 9 0 0）にて前記表示結果に関する演出が実行されている場合に、前記計時演出実行手段（例えば、図 3 に示す演出制御

C P U 9 0 0) にて前記計時演出 (例えば、R T C 演出) が実行されると、前記表示手段 (例えば、図 2 に示す液晶表示装置 4 1) は、前記計時演出 (例えば、R T C 演出) を表示可能 (例えば、図 9 (c) 参照) とする一方、前記可動演出体 (例えば、図 2 に示す上・左・右・左上可動役物 4 3 a ~ 4 3 d) は、前記表示結果に関する演出に基づいた動作を実行可能 (例えば、図 9 (d) 参照)) としてなることを特徴としている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 1 0】

1	パチンコ遊技機
4 3 a	上可動役物 (可動演出体)
4 3 b	左可動役物 (可動演出体)
4 3 c	右可動役物 (可動演出体)
4 3 d	左上可動役物 (可動演出体)
9 0 0	演出制御 C P U (演出実行手段, 計時演出実行手段)
9 0 5	R T C モジュール部 (計時手段)
M R B _ T B L	可動役物動作テーブル